

神戸女学院大学

人間科学部 心理・行動科学科

精神保健福祉士養成課程 ニュースレター

第4号

3回生の授業(ソーシャルワーク実習指導Ⅰ)において、今年度も小阪病院にて見学実習をさせていただきました。法人内では神戸女学院大学 精神保健福祉士養成課程を卒業した多数のOGが精神保健福祉士としてご活躍されています。

初めての精神科病院に緊張した面持ちでしたが、それぞれの見学先でお会いした精神保健福祉士の方々の物腰の柔らかさに段々と緊張が解れた様子でした。



参加した3回生の感想

- ・認知症病棟、開放病棟のデイルームを見学させていただいた際、それぞれいらっしゃる患者さんに合わせて認知症病棟では、転んだ際も大げなをしないように床の材質がクッションの効くように工夫されていること、自傷行為の恐れが少ないので、自販機が設置してあることにも驚きました。
- ・デイケアセンターは、自分に合ったプログラムや次のステップに進もうとしている方が楽しみながら社会参加することを目指しているとお聞きしていましたが、バンドを組んだり想像していたより活動的で実際演奏しているところを見てみたいと思いました。
- ・アプレンドやふうが自分が想像していたより小阪病院の近くであって驚きました。それぞれの施設で行っているプログラムが違っており、面白そうなプログラムもあり興味深かったです。また、それぞれの施設がとても綺麗で温かく、通いやすい雰囲気でした。
- ・小阪病院の実習を通して、ゆったりとした空間の中で、患者さんと関わり、向き合っていきたいという目標を立てることができました。

大変お忙しい中、貴重なお話と見学のお時間を設けていただき、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

学生からの質疑応答(一部ご紹介)

Q1: 安心できる場所をつくる時に心がけていることは？
A1: 面談をする場所も居室・デイコーナー・面談室・詰所とたくさん選ぶことができるので、「患者様に話しやすい場所はどこですか？」と聞くようになっています。

Q2: 小阪病院が掲げている目標「治すこと」「癒すこと」「スピリチュアル」の中の、「スピリチュアル」を実現させるために行われていることは？

A2: サービス全て。それらは、笑顔で挨拶するところから始まります(スマイルマークというバッジをつけ、職員全員で取り組んでいます)。人を喜ばせるのも悲しませるのも結局は「人」です。最近はじめた「癒しの小阪」の取り組み(ドッグセラピー、ロビーコンサート、ヨガ等々)が、わかりやすいかもしれませんが、それはほんの一部です。

